

国史跡白山平泉寺旧境内 歴史的建造物（門・塀）が完成！



【門・塀の概要】

礎石間の距離左右2.7m・前後1.8mの規模から、門跡の高さを約4.1mと推定しました。門の形式は、発掘成果や絵画資料の検討から「柿葺の薬医門」として復元しています。また、塀の基礎石垣は石畳道沿い幅約1.5m・全長約33m、坊院内西側袖壁は幅約0.9m・長さ約5.4m、同東側袖壁は幅約0.7m・長さ約0.9mで、遺構と絵画資料等の検討から簡易な築地塀を復元しました。

【調査・工事期間】

平成3年、16年、
20年～21年 発掘調査
平成21年 復元設計
平成23年～25年 整備工事
平成25年7月 完成

【復元地】

平泉寺南谷のやや奥に位置し、東西35m×南北26mの中規模な坊院跡。



締結書を交わした山岸市長と梶本理事長（前列左）



教育会館にはユニフォームなどのグッズが展示されています



【今後の連携活動】
◆サウルコス福井 関連グッズの展示
期間▼8月30日(金)まで
ところ▼教育会館 ロビー
◆少年サッカー教室
とき▼8月24日(土)
午後2時30分～3時30分
ところ▼中央公園グラウンド
◎ 未来創造課（市役所2階）
☎ 88・1115

7月30日、NPO福井にリーグチームをつくる会（サッカーチーム「サウルコス福井」の運営母体）と勝山市が包括的連携協定を締結しました。

NPO福井にリーグチームをつくる会と 包括的連携協定を締結 サウルコス福井には かつやま「恐竜サッカー」大使を委嘱

このことは、県内の自治体では初の試みです。サッカーを通じてお互いに知的・人的・物的資源を有効に活用し、地域社会の形成・発展に繋がります。

締結式には同会の梶本知輝理事長と、サウルコス福井の佐野達ゼネラル・マネージャー兼監督および選手、関係者が出席しました。

締結式後、サウルコス福井をかつやま「恐竜サッカー」大使に委嘱しました。



山岸市長は「まずは、市民の皆さんに『サウルコス福井』を知っていただき、ファンが増えていくように協力していきたい。」と話しました。

県へ重要要望書を提出

8月1日、山岸市長や松井県議会議員、副市長、関係部長が県庁を訪れ、勝山市が福井県に対して強く要望する事項をまとめた要望書を手渡しました。



西川知事や関係部局長に要望書を手渡しました

主な要望事項

- ◆大蓮寺川河川改修事業の整備促進等について
- ◆恐竜関連のまちづくりについて
- ◆子育て支援策の充実について
- ◆農林業の振興について
- ◆都市機能充実に向けた基盤整備について

など

守ってくださーい！ごみ出しのルール

◎ 環境政策課（市役所2階） ☎ 88・8104

◆酒の一升ビン、ビールビンは 酒店・スーパーで引き取ってもらう

酒の一升ビン（通常の茶色ビン）やビールビン（通常のビン）は、酒の小売店やスーパーなどで引き取ってもらってください。ビンはその後洗浄され、再利用されます。

◆新聞の束には「チラシ」を入れない

新聞は古紙類としてごみステーションに出すほか、地域や学校で実施されている資源回収などでも回収されていますが、中にはチラシなどが混ざったまま紐で縛られているものがあります。チラシは、雑誌などと同じく「その他の紙」です。新聞とチラシは、しっかり仕分けをしてください。

◆生ごみの水分をしっかりと切る

生ごみの水切りについては、広報紙でもたびたびお知らせしています。家庭から出される燃やせるごみの約半分が生ごみで、生ごみの約80%は水分です。生ごみの水分を十分に切ることで、ごみの量がぐっと減ります。

